



梅田だより

茅ヶ崎市立梅田小学校 TEL85-1125

めざす児童像「やさしく かしく たくましく」

令和5年12月22日
冬休み号

NO. 606

校長 大久保仁晶



茅ヶ崎寒川地区音楽会・シン・梅小祭り

明日より17日間の冬休みが始まります。今年も少し長い冬休みです。年末年始にはいろいろな行事があります。大掃除をしたり、除夜の鐘を聞いたり、年越しそばやお雑煮を食べたり、初詣に行ったり、書初めをしたり、そしてお年玉をもらったりなど一年に一度だけというものが多くあるので、ぜひ体験してみてください。一方、学級閉鎖が多くあった後期前半でした。体調管理には十分気をつけるとともに、また、学校から配付された「冬休みの過ごし方」を家族で読んでいただき、楽しい冬休みとなるよう過ごしてください。1月9日（火）に元気にお会いしましょう。



144名の歌声が響きました

さて、この12月に大きなイベントが復活しました。まず一つ目は「茅ヶ崎寒川地区音楽会」です。4年ぶりとなります。茅ヶ崎寒川地区24校を3つに分け、それぞれ8校ずつが合唱を披露しました。会場は茅ヶ崎市民文化会館の大ホールです。梅田小学校からは、4年生が出演して、本校の愛唱歌である「6年間のたからもの」を歌いました。曲の間奏にはナレーションも入る工夫もあり、堂々と歌い上げていました。「心臓バクバクした」子もいれば、「楽しかった」という子もいました。他校も4年生の出演が多く、同じ4年生のいろいろな歌を聞きあえたのもよかったと思いました。

二つ目は、「シン・梅小祭り」です。去年は、この時期に「梅小クエスト」として異学年交流を行いました。今年度は以前の「梅小祭り」に近い形で、各クラスがお店を行い、異学年のグループでお店を回ると言うものです。また、現代を反映して、SDGsを活かした取り組みが行われました。スローガンも「Sさあ行こう DダイナミックでGゴミなしで s(新しい笑顔)スマイルを ~チャレンジは無限大~」という壮大なものです。各クラスの負担が少なく、ごみ問題もクリアして、なおかつ、交流がたくさんできるような活動を目指しました。マッサージを行ったり、脱出系のクイズを行ったり、エコキャップを使ったり、今までは紙での説明もタブレットを活用したりとそのねらいは達成できたのではないのでしょうか。

一方、このお祭りも学級閉鎖の影響を受けました。6日（水）に1・3・5年生、15日（金）に2・4・6年生と分散する形での実施となりました。一斉にできなかったのは残念なところでしたが、廊下などの混雑具合はちょうどよい感じだったかもしれません。異学年交流では、上の学年は下の学年の子たちへのいろいろな配慮、下の学年は上の学年に憧れを抱きながら活動するところが素敵でした。この交流をきっかけに、日常でもつながってほしいと思います。



体育館で行う学年も



どのクラスもお客さんのために丁寧でした